



赤い羽根共同募金

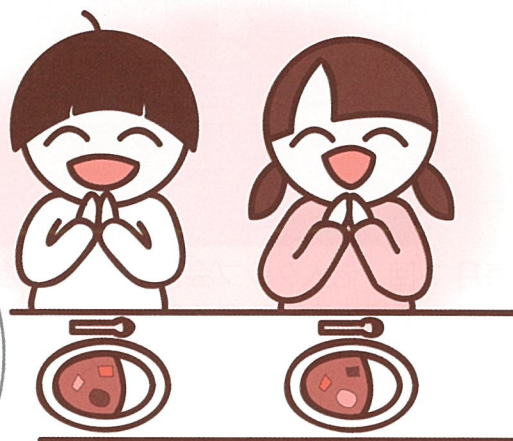
ご協力よろしく申し上げます

赤い羽根共同募金

じぶんの町を良くするしくみ。

高齢者の見守り

こども食堂にも



課題解決のために

生活をしやすく



赤い羽根若者向けプロジェクト作品：静岡県立浜松工業高等学校デザイン科 鳥山もえさん

赤い羽根の歴史

昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり今年で79回目を迎える全国的なたすけあい運動です。運動期間は毎年10月1日から翌年3月31日までの6ヶ月間、全国一斉に行われます。



じぶんの町を良くするしくみ

共同募金運動は、社会福祉法に基づき都道府県を単位として行われ、寄付金は、その都道府県内でさまざまな地域福祉課題を解決するために役立てられます。※各市町の助成事業の詳細は裏面をご覧ください。

なぜ目標額があるのか？

福祉団体等からの申請を受け、必要性や緊急性を考慮し、寄付者の方々に納得いただけるような助成計画を立て、その計画額を目標額として募金活動と呼び掛けるためです。

〔令和7年度募金目標額(県全体)〕
→ 5億1,000万円

福祉のまちづくりに

県内では令和6年度までの78年間に総額329億円の寄付をいただきました。これにより地域を取り巻くさまざまな福祉課題の解決に取り組む民間福祉活動を資金面で支え、福祉のまちづくりに貢献しています。

寄付する人も募る人もボランティア

「寄付すること」「募金活動に参加すること」は、じぶんの町の福祉を推進するボランティア活動です。自治会・町内会、民生委員・児童委員、会社や学校関係者などの皆様によりさまざまな場所で募金運動が展開されています。

災害時の被災者復興支援

地震や大雨など災害時に災害ボランティアセンターの設置・運営を支えます。令和6年6月の沼津市大雨災害はもちろん、地震と大雨災害の能登半島地域では引き続き被災者支援に役立てています。

税制優遇

赤い羽根共同募金へのご寄付には税制優遇措置が受けられます

個人のご寄付

所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除

法人のご寄付

法人税の「全額損金」算入



あなたの町の使いみちは裏面をご覧ください。

“赤い羽根”は南伊豆町の福祉のために使われ、地域のみなさまの笑顔につながっています。

南伊豆町のイチオシ事業!!

“赤い羽根” 寿大学事業



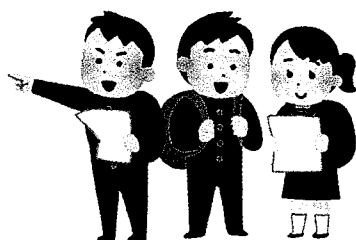
毎月1回、老人クラブ会員約70人が参加し「寿大学」と称する生涯学習の講座を開催しております。健康づくりや交通安全、防犯や防災など様々な分野について学んだり、年1回の日帰り研修旅行も実施しております。赤い羽根共同募金のおかげで毎月楽しく学習しています。

～ほかにもいろいろ、“赤い羽根”共同募金の使いみち～



“赤い羽根” 災害ボランティア活動

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会では赤い羽根共同募金を活用して、災害ボランティア本部立上訓練や町民向けの防災啓発活動を実施しております。昨年度には、会員のスキル向上を目的として救命救急講習や、近隣市町の津波避難タワーの視察研修などを実施しました。



“赤い羽根” 修学旅行補助事業

経済的な理由で修学旅行への参加が困難な小中学生を対象に経費補助事業を実施しています。気兼ねなく旅行に参加できるよう援助することで、学校生活の良い思い出づくりにつなげています。



目標額

地域の福祉課題を解決するために必要な「目標額」をたてました。

令和7年度募金目標額（お願い）

2,329,000円

内訳

“赤い羽根”一般募金	1,238,000円
地域歳末たすけあい募金	1,091,000円

南伊豆町共同募金委員会（南伊豆町社会福祉協議会）

〔事務局〕〒415-0304 南伊豆町加納790（南伊豆町健康福祉センター内）

電話・FAX 0558-62-3156



ネットで寄付する